

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	農業遺産 久保洞水路橋 魅力発信事業
事業主体 (連絡先)	南木曾町 0264-57-2001 担当：産業観光課農林係 加藤弘彰
事業区分	(5) 環境保全、景観形成 (6) 産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,194,480円 (うち支援金：913,000円)

事業内容

明治42年築造の石造り(地元産花崗岩使用)多連跨線水路アーチ橋である「久保洞水路橋」について、資料収集及び現地調査を行い、土木遺産としての評価を実施した。

また、当該水路橋は中山道と近接しており、旧街道を歩く観光客の新たな観光名所として発信できるよう、案内看板を作成した。



【案内看板】

【目標・ねらい】

- ①土木遺産評価
- ②新たな観光資源

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

調査の結果、鉄道土木構造物が煉瓦造、石造であった時代に建造された跨線水路アーチ橋として非常に希少価値のある現存例であることが確認された。

また、調査結果を基に作成した案内看板により外部へ魅力を発信し、新たな観光資源となり観光誘致による地域活性化に繋がった。

※自己評価【B】

【理由】

土木遺産としての希少価値が確認され、新たな観光資源に繋がったため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

土木遺産として非常に希少価値があることから、町の「登録有形文化財」の指定に向けて取り組みを行う。

また、周辺の近代遺産(読書発電所等)や鉄道遺産(SL公園)を組み合わせたウォーキングコースの検討や廃線敷の復元を検討する。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある